

ウエダ家さんの
COBO理論と思想、
そして生命を元気にする
レシピ集が小冊子に
なっています。

(店頭でお求めいただけます)



「霊峰」に立ち入ってはならない。
じぶんたちが、生きていくために。

この言葉に、日本人がもっていた、自然発酵のルーツをみました。
人は生きものの原初的なネットワークに、立ち入ってはならない。
こうした日本人の根底に流れる自然哲学が失われています。
どこを基準にものごとを判断し、関係をつくり生活の基盤を
築けるのか。心身に充足した幸福感を得られるのか。現代に
おいては非常にわかりづらい状況にあります。ウエダ家の
自然発酵システム「COBO」は、殺菌処理と種菌を添加する
「発酵」ではありません。まずは、多種多様な微生物の相互作用
を受け止めること。そのなかから、人と理想的な関係をつくる
ことができる「乳酸菌と酵母」のコロニー(集合体)に着目。
高度なネットワークが張り巡らされ自立した微生物界の「霊峰」
——ここに、次世代の食環境をつくる希望をみます。「COBO」を
ツールとして多種多様なジャンルの方々とながっていきます。

COBO株式会社



生命ネットワークの 発見 株式会社「片山」代表 片山雄介氏

植田(夏雄氏)家の10余年に亘る微生物の地道な観察と研究は、あの
昆虫記で有名なジャン=アンリ・ファブルに重なる。ファブルは同時代
に生き、親交のあったチャールズ・ダーウィンの観念的な進化論を強く
批判していた。それは、ダーウィン一族が現実の生物の営みを直視する
ことなく、人間の身勝手な価値観の中で組み立てられた進化論を、
あたかも当然のこととして主張していたからである。植田家は、ファブルが
昆虫たちの世界に入り込み、彼らの視線に合わせたように、肉眼では
見ることのできない微生物たちの世界の中で、ひたすら彼らの営みを
感じ取ろうとした。その結果、彼らの世界は人間の英知をはるかに超越した
普遍的な秩序の中で、お互いがお互いを必要とする、限らないネットワークを
持っていることを突き止めたのである。それは、大切な生命のあり方を
見失ってしまった我々人類に対する、歩むべき生き方のメッセージでもある。

●微生物が選んだ エリクサー水

生きている「マイグルト」は、蒸し米・米麴・水で仕
込みます。

低温下で乳酸菌が活躍するためには、菌が生き生きと活
性する環境が必要です。

その環境とは、**第一に「水」、第二に「場」**です。
特に水は直接菌に影響を与える為、大変重要になります。

ウエダ家では過去に様々な自然水や、活水器の水で実
験を試みてきた結果、**菌は、エリクサー水を優良な
活性水として選びました。**

(株)寺田本家をはじめ、様々なこだわりのメーカーが、
エリクサー水を使っています。

当社ではエリクサーのご活用を皆様にお勧め致します。

株式会社 片山

ここが、ポイント！



いきているマイグルトのレシピも満載。

COBOブックレット

自然発酵 100%

ウエダ家の「つや膜ネットワーク」—コーボ

定価：100円(税込)



おはろばたより
No.3755 13-119 8/2

